

多言語により在住外国人の様々な相談に対応

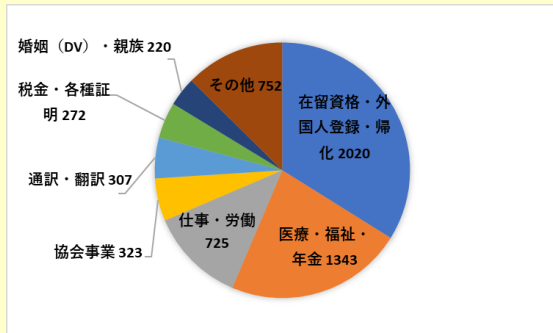
外国人総合相談センター埼玉

埼玉県に暮らす全ての方が国籍や文化にかかわらず活躍できるよう、生活全般の相談や公共機関窓口との仲介通訳を実施しました。また、出入国制度や労働問題など専門的な相談を、多言語によりワンストップで対応しました。

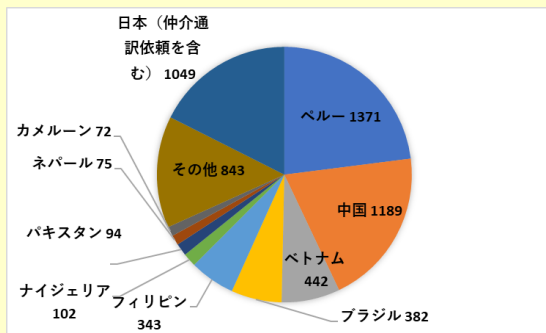
さらに、令和4年3月15日からは**ウクライナから避難された方々のため、ウクライナ語とロシア語を対応言語に加え、13言語（やさしい日本語含む）**で窓口を運営しています。

対応言語：**13言語**（英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、**ロシア語、ウクライナ語、やさしい日本語**）

相談内容別件数



国籍別件数



○全相談件数**5,962件**のうち 専門相談の件数：**1,121件**
（入国管理：1,084件、労働：14件、法律：22件、福祉：1件）

日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス

日本語を母語としない子どもとその保護者を対象に日本の高校進学のための情報などを提供するガイダンスを開催しました。当日は感染症予防対策を徹底し、密を避けるため2部制及び完全予約制としました。また、高校進学に関する資料を7か国語（日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語）で作成し、配布しました。



○参加者：**149人**

（令和3年8月7日 大宮ソニックシティで開催）

入学試験・学費などの説明、先輩の体験談発表があり、学校ブース（公立高校11校、私立高校3校）、奨学金ブース、日本語教室紹介などがあり、参加者は希望するブースで話を聞きました。

ホームステイボランティア（ホストファミリー）の紹介

グローバル人材育成センター埼玉（GGS）の会員大学の外国人留学生を対象にホームビジットやオンライン交流を通じて、日本文化に対する理解を深める機会を設けました。あわせて、埼玉大学実施のサマープログラムに参加する学生のオンライン交流も実施しました。

また、国際交流基金日本語国際交流センターの研修生は、コロナ禍で来日ができず、母国からオンラインを通じてホストファミリーと交流しました。

★オンライン交流 **9回** 参加ゲスト**117名**
参加家庭**107家庭**

★ホームビジット **1回** 参加ゲスト**13名**
参加家庭**13家庭**

◆参加者の声◆

【オンライン交流】

<ホスト> ・オンラインだからこそ一日でたくさんの国の方との交流が出来た事が良かったです。

<ゲスト> ・とても楽しかった！日本人の家族と話して、日本語でしゃべるための自信ができました。

・日本の家庭での生活を知るとはとても楽しく、本当に役に立ちました。こういった経験をもっとしたいです。

【ホームビジット】

<ホスト> ・久しぶりに対面で交流できて嬉しかったです！

・コロナ禍で手探りで交流が続くが、焦らず、一歩ずつできることを工夫し、交流を続けていきたい。

<ゲスト> ・私にとって、日本留学中の最高の経験の一つとなりました。

